

医師の診断を受け、保護者が記入する **登園届** が望ましい感染症

感染症名	症 状	登園の目安
溶連菌感染症	①発熱…突然 38℃～39℃の高い熱ができる ②咽頭痛…のどちんこ周辺に赤く小さな点々(扁桃腺炎) ③イチゴ舌…舌に赤いツツツができる ④皮膚症状…全身が赤く日焼けしたように赤い	抗菌薬内服後24～48時間 経過していること
マイコプラズマ肺炎	①発熱…38℃以上の熱(微熱で発症する事も) ②体全体がだるい ③乾いた咳が続く…空咳や痰が絡まない咳。激しい咳が続く ④消化器症状がみられることがある。吐き気や嘔吐・下痢など	発熱や激しい咳が治まっていること
手足口病	①水泡…口内、手の平、手の甲、足の裏、手足の指の間に白い水泡 が生じる	発熱や口腔内の水泡、潰瘍の 影響がなく、普段の食事が摂れる事
伝染性紅斑(リンゴ病)	両側の頬に紅斑が現れる。続いて全身にノコギリ 歯状の紅斑が確認される	
ウイルス性胃腸炎 (ノロ・ロタ・アデノウイルス等)	咳や鼻水の風邪症状がなく下痢や嘔吐がある場合可能性が高い。 ①ロタウイルス・嘔吐から発熱、そして下痢といった経過を辿ります (便・お米のとぎ汁のように白いのが特徴) ②ノロウイルス・ロタウイルスと同様。下痢や嘔吐、発熱が主 ③アデノウイルス・高熱が4・5日続き目や胃腸にも症状ができる	嘔吐・下痢などの症状が治まり普段 の食事が摂れる事 アデノウイルスが原因の引き起こさ れる病気は意見書が必要になってき ます。
ヘルパンギーナ	ウイルス感染症で「夏風邪」といわれる 口内に水泡や水ぶくれ、のどちんこに炎症症状が確認されるよう になり、食べ物を摂取する際に喉に強い痛みを伴うケースが大半 ①発熱・38℃以上 ②口内の口内炎、水泡や水泡が破れた後のただれ ③喉、喉ちんこの炎症症状 ④高熱による倦怠感、関節の痛み ⑤稀に急激な発熱に伴う熱性けいれん	
RSウイルス	鼻水・咳・発熱 気管支炎による喘鳴が特徴(ゼイゼイ・ヒューヒュー)	呼吸器症状が消失し、全身症状が良 いこと
帯状発疹	皮膚にチクチクするような痛みが起こる。 痛みを感じた場所にツツツとした赤い発疹ができ、小さな水ぶく れとなって帯状に広がる。 特に胸から背中、腹部などによく見られます 顔や手足にも現れる	全ての発疹が痂皮下してから
突発性発疹	40℃の高熱と全身の発疹。 熱が下がっていくのと同時に、お腹や背中を中心に赤い発疹が現 れる。 高熱のわりには元気であることも特徴	解熱後、全身症状が良いこと